



桜山小だより

【学校教育目標】

- ・(知) 夢を持ち楽しく学ぶ子
 - ・(徳) 心豊かに思いやる子
 - ・(体) 健康でたくましい子
- ～ともに夢を育む感動体験を通して～

6月号

令和8年6月23日発行

校長 ニロ 法子



社会性が身に付く教育の推進について

学校では、教職員が一丸となって日々の教育活動を推進しています。

今年度の教育活動の重点努力点として年度当初に職員に周知し、「おはなし会」で全校児童に話したことが、標記の「社会性が身に付く教育」の推進です。おはなし会で語ったことを以下に記します。

みなさんは、今朝の健康観察で「はい、元気です」と言えましたか？

校長先生は、始業式や終業式で学校教育目標のお話をしています。学校教育目標は桜山小学校のみんなの目標です。その中に「健康でたくましい子」という目標があります。「健康」というのは、風邪をひいていないから元気です、熱が出ていないから元気です、という体のことだけでなく、心の中の元気も、健康という言葉には入っていると考えています。心も元気であるために、学校生活でできるようになってほしいことを4つお話します。

- ① 自分の気持ちを理解して、伝えられるようにする
- ② お友達の立場を想像して、違うところを受け入れる
- ③ ルールや約束の意味を理解して、守ろうとする
- ④ 失敗をやり直しに変えられる力

体だけでなく心も元気でいられるように心がけていきましょうね。

発達段階や家庭環境によるところがありますが、仮想空間やSNS上での振る舞い方には長けていく環境にあるのが今を生きる子どもたちであると捉えています。その反面、現実世界における人付き合いにぎこちなさを持つってしまうのも今を生きる子どもたちであると言えるのではないのでしょうか。小学校では「お友達と仲良く遊びましょう」が実現しています。来校者からは「人懐こい子どもたち」であるとお褒めの言葉をいただいています。仲間とのコミュニケーションが取れる児童を育成すべく、日々の教育活動に邁進しております。ご家庭からのご協力も賜りますようお願いいたします。

【給食ボランティア「えぷろん せんせい」よりいただいた感想です】

○少し前まで幼稚園や保育園に通っていた児童が、小学校という新しい環境でみんなで給食の準備をする姿を目にして、新入学児童を担当する先生方のご苦労を実感しました。

そんな児童たちも5月の中旬には準備のほとんどを自分たちでできるようになり、児童の成長を間近で感じる事ができました。活動の最後には、児童が「ありがとうございました!」と毎回大きな声で挨拶をしてくれて、こちらの方が元気になって帰っていったくらいでした。

期間中、たくさん参加される方もいれば、忙しい時間の合間を縫って数回だけ参加される方もいらっしゃいましたので、多くの保護者の方に興味をもってもらえたらいいな、と思いました。